

## 株式会社安藤・間に対する 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社安藤・間（代表取締役社長：国谷 一彦、以下「安藤ハザマ」）に対し、建設業界初となる「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（IS030414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

安藤ハザマは、「安藤ハザマ VISION2030」にて「従業員価値の創造」をビジョンの一つに掲げ、従業員エンゲージメントの向上に資する会社の魅力向上策等を推進する他、社内外に従業員の健康を経営課題として捉え、会社全体で健康増進に取り組むという健康経営宣言を発信し、従業員の健康管理を経営視点から戦略的に取り組むなど、人的資本経営を実践しています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、安藤ハザマが経営コミットメント領域において役員報酬 KPI、労働安全衛生および従業員エンゲージメントスコアといった複数の人的資本に関する指標を設定していることや、健康・安全領域において経年実績開示のほか、健康投資効果の開示を行っていること等、本商品の評価指数において高い水準を満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すと同時に、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

（※1）Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス

2023 年 5 月 30 日付プレスリリース「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始について  
URL : [https://www.mizuho-bank.co.jp/release/pdf/20230530\\_2release\\_jp.pdf](https://www.mizuho-bank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf)

（※2）株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上